

## 1. 目的

- 1) 移植看護の一連の流れを学び、実際を知ることができる。
- 2) 移植患者に必要な指示的ケア（口腔ケア・皮膚ケア・リハビリ等）の実際を知ることができる。

## 2. 目標

- 1) 移植前処置とその副作用・合併症について学習する。
- 2) 移植後早期～後期の合併症・感染症とその管理について学習する。
- 3) 移植決定から、L T F U 外来までの概要を学ぶことができる。
- 4) 移植後患者に必要な指示的ケアについてアセスメントに基づいた看護計画を立案できる。
- 5) 移植医療に関わる多職種を知り、その連携について学ぶことができる。

## 3. プログラム指導者と施設

- 1) プログラム指導責任者：無菌病棟師長 砂川伸悟、血液内科一般病棟師長 渡智華
- 2) 施設：虎の門病院 血液内科 18階北病棟、18階南病棟、外来

## 4. 指導体制

造血幹細胞移植実習担当看護師を中心に指導を行う。

定期的に研修目標の進捗状況を確認し、適切に研修を進める。

## 5. 研修期間

- 1) 実習期間4週間（1週間5日間 計120時間）。但し、祝祭日は休みとする。
- 2) 実習時間1日6時間（6時間の拘束時間は、前処置・移植日等の時間に合わせ、移植看

護の流れが学べるように、実習時間を適宜調整する)

3) 実習時間には、記録、情報検索、自己学習の時間も含まれる。

4) 実習出席表に、実習責任者より出席時押印をもらう。

5) 欠席時は、その理由を学習実績表に明記する。

## 6. 研修対象者

造血幹細胞移植看護基礎研修 I・II 修了者

## 7. 研修方法

実習方法は見学実習とする。直接的ケアは行わない。

## 8. 実習内容

移植の様々な時期（前・中・後・L T F U 外来通院中患者）にある患者への関わりを見学し、移植看護や他職種との連携についても知る。

外来において、L T F U 外来に来院した患者の問診等の見学を行う。

## 9. 実習修了の要件

以下の2点を満たすことで修了とする。要件を満たして実習が修了した場合に修了証が発行される。

1) 規定の実習時間 4/5 以上の出席

2) 指定の課題（自施設への課題の明確化等）と評価表を提出